



発行所 いわき民報社 平市田町四八番電話一七六番

設計請負 平土地住宅 社長 正木昌次郎

平消防團編成急ぐ

市長、委員の権限に流言飛ぶ

平市消防團の指令は市... 消防團の組織は先づ市議員から五名

市長、委員の権限に流言飛ぶ... 市長は臨時に必要ある

消防員三人以上以上... 消防員三人以上以上

消防員三人以上以上... 消防員三人以上以上

消防員三人以上以上... 消防員三人以上以上

消防員三人以上以上... 消防員三人以上以上

消防員三人以上以上... 消防員三人以上以上

消防員三人以上以上... 消防員三人以上以上

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

委員、は條令の範... 委員、は條令の範

關内團長の再選確実

暗躍を他所に團員結束... 暗躍を他所に團員結束

暗躍を他所に團員結束... 暗躍を他所に團員結束

暗躍を他所に團員結束... 暗躍を他所に團員結束

暗躍を他所に團員結束... 暗躍を他所に團員結束

鮮魚登録店揃う

合計實に六十四店... 合計實に六十四店

合計實に六十四店... 合計實に六十四店

合計實に六十四店... 合計實に六十四店

合計實に六十四店... 合計實に六十四店

野菜市場

野菜市場... 野菜市場

野菜市場... 野菜市場

野菜市場... 野菜市場

野菜市場... 野菜市場

配給

配給... 配給

配給... 配給

配給... 配給

配給... 配給

節約した電気を

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

重要産業の生産へ... 重要産業の生産へ

農試分場復活と 修練農場の可否

石城分場復活期成同盟会長
志賀傳吉

終戦後の日本が重工業然るに近頃石城農事協に依る國策から、農業協が主權と成り、戦立國へと衣變し、農業争の遺物双葉修練農場指導機關も擴大強化を存置運動を起し、復活計りつつ有り、石城分を防禦する事は活潑な場復活決定も斯る大方農民の爲に甚だ憂慮す針に依り、縣委員會にべき事である。

稲田齋藤技師に依り石城の果樹園藝の發達は甚大で有り、優良品種も相當移入された(品種名は後述)。

以上は如く兩方の實績を比較する時に縣の方針にそつて分場復活する事に共鳴する事は當然で有り、反對する事は時代錯誤も甚だし次第である。

成した役員は左の如く決つた。

信(植田)本田要之助(内郷)早川雅術(大浦)小野瀬主税(小名濱)中島ミイ(平)飯田近治(平)

大きく割當を突破 麦いもの供出現況

藁下の麦、いも供出はその後も續けられて、二十五日現在の成績は物凄く大麥二萬六千六百九十九俵、小麥六千三百八十四俵、馬鈴薯四萬八千九百六十五俵に達し割當量に對して大麥二千四百九十九俵、小麥千三百四俵馬鈴薯一萬五千三俵のいづれも超過と云う金字塔を打倒して、いもも、いわきの意氣を遺憾なく發揮してゐるな。今月いっぱいには完了の豫定

ヤミ米下落す 米七十圓麥四十圓台

平市近邊の主食の闇價開催するが、講師は血は急に下落、一升百三液病理學を基礎とする

病の原因を
聴く講習會
三十一日日本社
ホールで開催
整いのせん學を行
うことになり二十七日
署城療術師會と人間醫
學社平、植田支局共催
午後一時から市勤業課
平保健所、日本健康厚
生協會支那後援の「こ
こに決定した
習會」は三十一日午前
九時から本社ホールで
員會は二十五日午後

食調委員會
市では三十一日食糧調
査の調査にせん學を行
うことになり二十七日
署城療術師會と人間醫
學社平、植田支局共催
午後一時から市勤業課
平保健所、日本健康厚
生協會支那後援の「こ
こに決定した
習會」は三十一日午前
九時から本社ホールで
員會は二十五日午後

社交ダンス
八月十七日付論壇
と題するSS氏の論を
拜見して更に一言した
。氏の言ふことも亦
一端の理屈である。理
屈であるがダンスの本
質を論ずる迄には氏の
論は到達してないとい
ふのは、文化の向上に
つて、どんな大開野
から、

野村浩将監督、撮影がうとする男を助ける人
西川草といつた松竹情美談を新・ん夫婦の
品で、女の美しい誠心生活を通じ喜劇的に描
が危く人生に轉落しよき、明るい笑ひといふ
眼をもつて現實を直視してゐたものだ。ただその
し給へ、労働者は自己の力が多少なりとも藝術
的になつた最初のもの
的になつた最初のもの
的になつた最初のもの

野村浩将監督、撮影がうとする男を助ける人
西川草といつた松竹情美談を新・ん夫婦の
品で、女の美しい誠心生活を通じ喜劇的に描
が危く人生に轉落しよき、明るい笑ひといふ
眼をもつて現實を直視してゐたものだ。ただその
し給へ、労働者は自己の力が多少なりとも藝術
的になつた最初のもの
的になつた最初のもの
的になつた最初のもの

急募 茶喫純 オアシス

急募
茶喫純
オアシス

療術師會 役員決る

療術師會
役員決る

恥かしい頃

平館で二十六日から

戀仲であつたが、遂に義夫は、心配の餘り伊頼んで一諸に義夫を探旅行の夫婦が泊り合せ
目出度くそれが實を結ぶ三郎の所に訪ねて、温泉水で出掛けて、甘い話など聞
んで結こんだばかりが、春江は必死になつて、春江は必死になつて、春江は必死になつて、
の或夜のこと、泥棒につて義夫を慰め、いつて探すが夫の姿は見當らなく、夫が戀しい氣持
見舞はれて大さわざに黙つてゐても春江の心は、春江の心は、春江の心は、
なる。ところが案外、氣持が變つて戻つてゆく、
氣のいい、此の泥棒は、
却つて春江から意見さ
入れた結果、翻然氣持を
入れかへ、更生を誓つ
て立ち去つてしまふ。
折から訪れてきてゐた
會社の同僚と二階に隣
室に縛られてゐた夫の
義夫は泥棒が餘りに大
人しく出て行つた事か
ら、妻が泥棒に犯され
たのではないかと疑
ひを深くする。
翌朝、早くも會社の
同僚達の間に、春江に
對して變な噂がたてら
れてゐる事を知り義夫
は愈々煩悶する。とう
とう春江は怒つて親代
りになつてゐる伯父吉
田伊三郎の家に戻る。吉
田伊三郎は、
云ふさきさきになつて
まふ。氣の強い伯母の
お里は事情を聞いて春
江に同情し、義夫の許
江に二度と歸らぬやうに
に二度と歸らぬやうに
に二度と歸らぬやうに

大和屋ミシン店
ミシン店
キモノ洋服
福屋
眼鏡
玉屋
浦商會